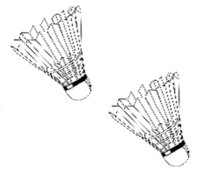




3年連続で近畿大会へ



8月9日(火)～21日(日)に行われた第77回大阪高等学校総合体育大会において、男子ダブルスI部に出場した2年生の有留啓太・小野司ペアがベスト8となり、近畿高等学校バドミントン選手権大会への出場を決めました。また、1年生の郷谷和生・二葉蒼天ペア、女子ダブルスI部に出場した川上実來里・樋渡穂花ペアは、9位決定戦を制し、同じく近畿大会への出場権を得ました。本校からの近畿大会出場は、昨年度(和歌山大会、で男女5ペア、2シングルが会場)、一昨年度(奈良大会、男子1ペア出場)に続けて3年連続となります。今年の大会は、来る11月11～13日の3日間、大阪(岸和田市総合体育館など)で開催される予定です。なお、近畿大会出場者の出身中学校は以下の通りです。

有留啓太：池田市立渋谷中学校 小野司：東大阪市立盾津中学校
郷谷和生：箕面市立第三中学校 二葉蒼天：枚方市立桜丘中学校
川上実來里：大阪市立茨田北中学校 樋渡穂花：守口市立第一中学校

男子学校対抗の部で準優勝

同大会の男子学校対抗の部には、3年生を中心とした選手で出場した結果、第2位(準優勝)となりました。全国大会常連で個人戦でも常に上位を占める東大阪大学柏原高等学校にはかなわなかったものの、府大会で準優勝したのは学校史上初めての快挙です。

女子もベスト8(第5位入賞)

同大会の女子学校対抗の部も、春季大会(全国高等学校総合体育大会大阪府予選会)に続いてベスト8に入りました。女子は近畿大会出場を決めた1年生をはじめ、全員が全力で試合に臨んだ成果です。次の学校対抗は次年度の春大会、新入生を加えベスト8の壁をこえることを目標にがんばります。

シングルス3年生大会では優勝・準優勝を独占！ ダブルスでも3位に入賞

同大会の女子シングルス3年生大会では学校対抗の部でも活躍した山川瞳が優勝、中原茉莉乃が準優勝、頂上決戦は初めて本校同士の対決となりました。また、ダブルスでも、北川愛彩・山川瞳ペアが第3位となりました。

